

カメラ まちの出来事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



備中たかはし松山踊り (8月14日～16日 JR備中高梁駅前大通り)

359年の伝統をもつ県下三大踊りの一つ、「備中たかはし松山踊り」(同実行委員会主催)が行われ、大勢の家族連れや若者らが城下町の真夏の夜を踊り一色に染めました。今年も、流し踊りが復活。職域・団体連によりコンテストや氷の彫刻展、仕組み踊り、精霊流しなども行われました。

高梁の魅力みつけたよ (8月21、22日 市内各所)

市内の小学生を対象に、高梁の魅力を知ってもらおうと、市内各所を巡るバスツアー「高梁すきすき探検隊2006」(高梁青年会議所、市教委主催)が行われました。1日目は磐窟溪やトマト選果場、吹屋などを見学。吹屋ベンガラ陶芸館では、指導者にコツを聞きながら思い思いの作品を作りあげていました(写真)。2日目は、頼久寺、方谷の里ふれあいセンター、うかん常山公園を巡り、常山交流センターでは、わら細工「コトコト馬」づくりに挑戦しました。



華麗な曲芸に拍手喝采! (8月26日 総合文化会館)

県と友好提携を結ぶ中国・江西省の雑技団公演が行われました。団員12人による華麗な曲芸などが繰り広げられ、訪れた約1000人の観客を魅了しました。また、団員たちは25日から3日間、市内にホームステイしました。



ようこそ!高梁へ (8月10日～16日 市内各所)

国際姉妹都市の米国オハイオ州・トロイ市から中学生13人、引率2人の計15人が高梁を訪れ、有漢中学校への訪問では、生徒などと一緒に書道や絵手紙に挑戦(写真)。期間中、市内でホームステイし、生け花体験や松山踊りなどにも参加して市民と交流し、友好を深めました。

トロイ市とは、平成2年に縁組を締結。中学生は隔年で相互に訪問団を送っており、トロイからの来高は8回目。



ラッセ〜ラ〜! ラッセ〜ラ〜! (8月12日 マンガ絵ぶた公園一帯)

「マンガ絵ぶたまつり (備北商工会川上支所主催)」が行われ、アニメのキャラクターなどをかたどった10基の絵ぶたが真夏の夜を彩り、約1万2000人の観衆を楽しませました。

大賞には、三沢絵ぶた会の「火の鳥」(写真)。準大賞に、ドリームファクトリーの「孫悟空」、七進絵ぶた倶楽部の「備中神楽酒造り」が選ばれました。

映画「バッテリー」高梁でのロケ (8月23日 和田市職員駐車場)

美作市在住の作家・あさのあつこさん原作の映画「バッテリー」(平成19年春全国東宝系公開予定)のロケが県内各所で行われ、高梁でも主人公の中学生バッテリーが初めて出会い、キャッチボールをするシーンなどの撮影が行われました。

また、(写真左から)滝田二郎監督と出演者の天海祐希さん・岸谷五郎さん・菅原文太さんの会見もあり、意気込みや県内の印象などを語られました。



100歳おめでとうございます (8月22日 きのこ老人保健施設<笠岡市>)

江草松子さん(備中町平川)が18日に100歳の誕生日を迎えられ、市長らが訪問し記念品や花束を送り長寿を祝いました。長寿の秘訣は「ストレスのない生活が送れていること」だそうです。

市内で、100歳以上の人は、8月18日現在で21人(男性4人、女性17人)

備中高梁駅に特急「やくも」号全列車停車へ (8月16日 JR西日本岡山支社)

市、市議会、高梁商工会議所、高梁市観光協会の連名で、JR西日本岡山支社長に、企業活動の一層の活性化、観光振興を図るために、伯備線特急「やくも」号の備中高梁駅への全列車停車実現に向けた要望書を提出しました。

要望の結果、10月1日から11月末まで、試験的に同駅にすべての「やくも」号が停車することになりました。期間中、多くの利用にご協力ください。



今月の 表紙

訓練したよ! ~9月1日 防災の日~~

防災の日の9月1日、成羽総合福祉センター(成羽町下原)で、各地域の婦人防火クラブ員や鶴鳴・成美の両保育園児ら約80人が参加し、防災訓練が行われました。

婦人防火クラブ員は、炊き出し訓練や消火器を使った消火訓練、煙の充満した部屋を通り抜ける煙体験を行い、災害時の行動や心構えを再確認。消火訓練に参加した園児たちは、一生懸命に放水していました。

この防災訓練は、毎年、防災の日に合わせて、市民の防災意識を高めようと開催しています。